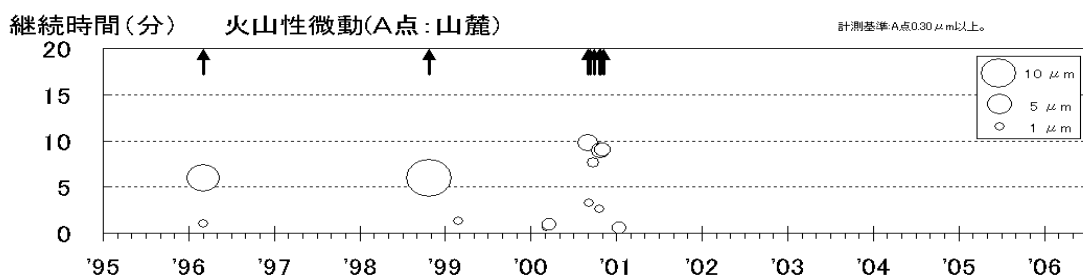
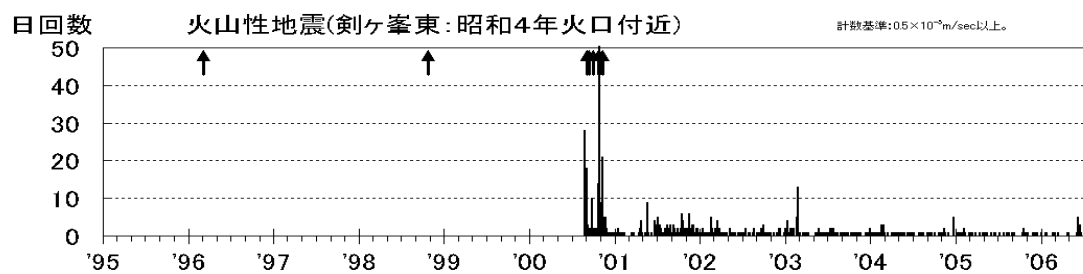
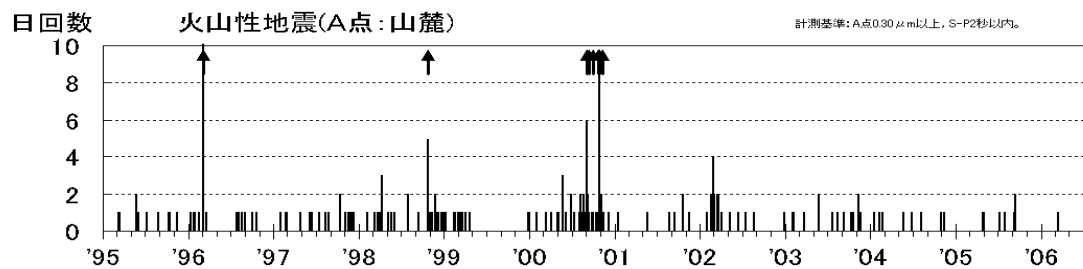
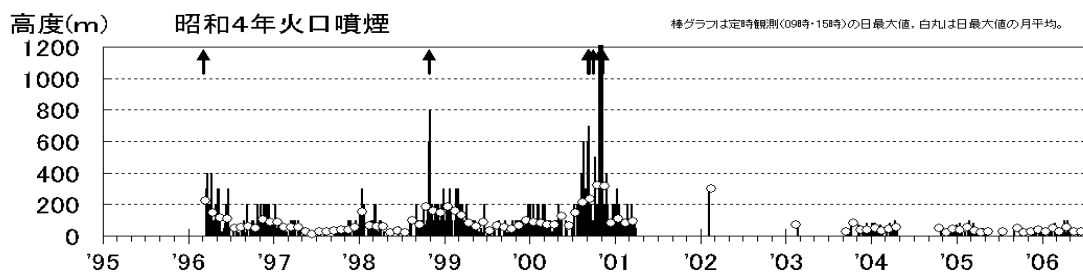
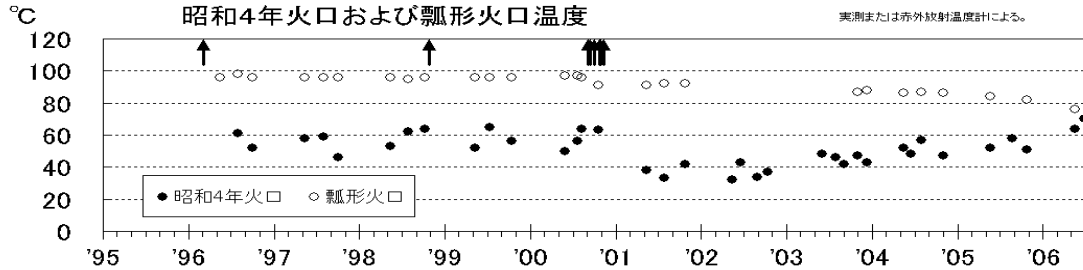


# 北海道駒ヶ岳

## 1 概況

火山活動は静穏に経過しています。わずかな山体膨張や、2003 年 9 月以降見られている昭和 4 年火口からの弱い噴気は引き続き観測されています。



最近の火山活動経過図 (1995 年 1 月 1 日～2006 年 6 月 30 日) ↑印は噴火

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ (標高)』を使用しています。(承認番号 平 17 総使、第 503 号)

## 2 噴煙および火口の状況

2003 年 9 月以降、昭和 4 年火口からの弱い噴気がしばしば観測されています。

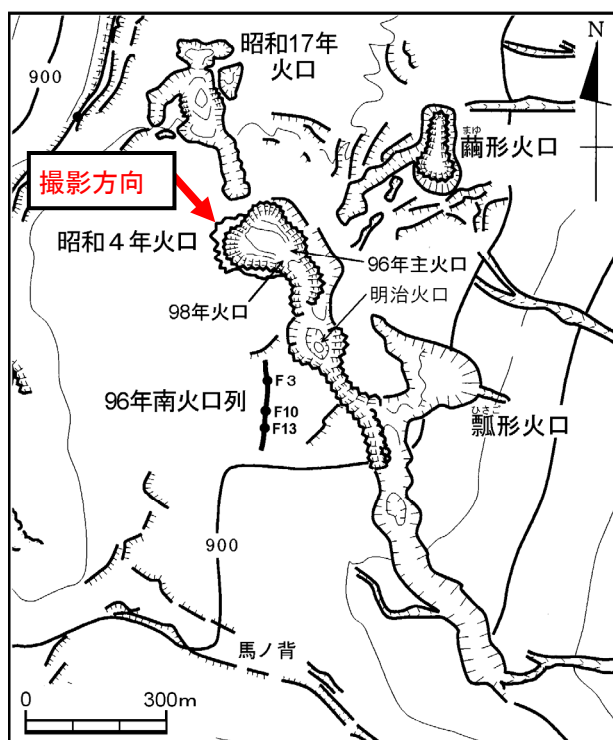
30 日に北海道開発局の協力を得て上空からの観測を実施しました。昭和 4 年火口では 2000 年噴火のあった南側内壁部分から白色の噴気が立ち上がり、上空では硫化水素 (H<sub>2</sub>S) 臭も認められました。

その他、明治火口の西側内壁からもごく弱い白色の噴気が認められましたが、噴気活動に変化は見られませんでした。



北西側上空から撮影した昭和4年火口の状況(下図 →方向より撮影)

(左 : 2006 年 6 月 30 日撮影 右 : 2005 年 11 月 2 日撮影)



北海道駒ヶ岳山頂火口周辺図

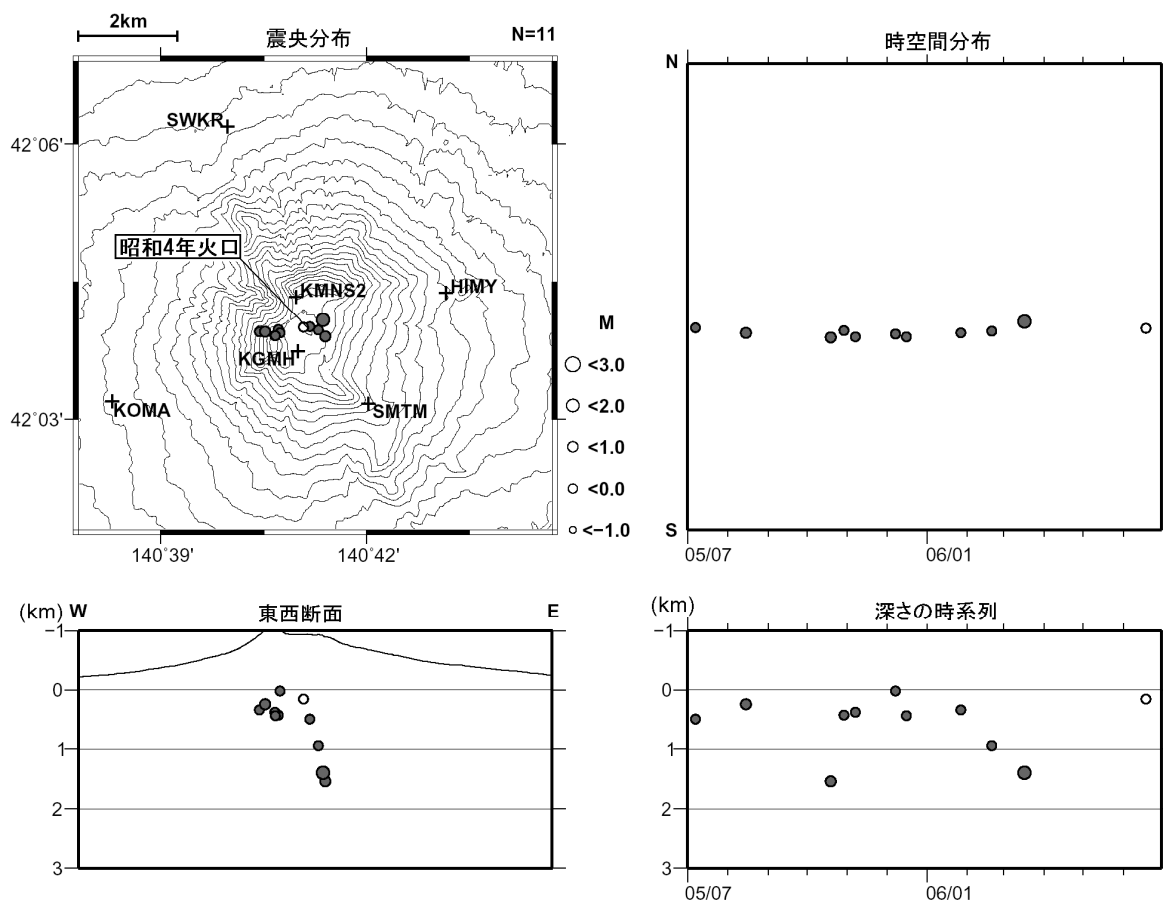
### 3 地震の発生状況

今期間、A点（震央分布図中 KOMA）で火山性地震は観測されませんでした。なお、山頂の剣ヶ峯東観測点（震央分布図中 KGMH）で観測される微小な地震は時折発生しました。

火山性微動は 2001 年 1 月以降観測されていません。

地震・微動の月回数（A点：山麓の観測点 剣ヶ峯東：山頂付近の観測点）

2005～2006年	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
A点地震回数	2	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0
剣ヶ峯東地震回数	3	3	1	4	3	2	3	2	3	2	0	12
A点微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



北海道駒ヶ岳の震源分布図（丸印：震源 +印：地震観測点）

○印は今期間(2006年6月)に求めた震源を示しています。

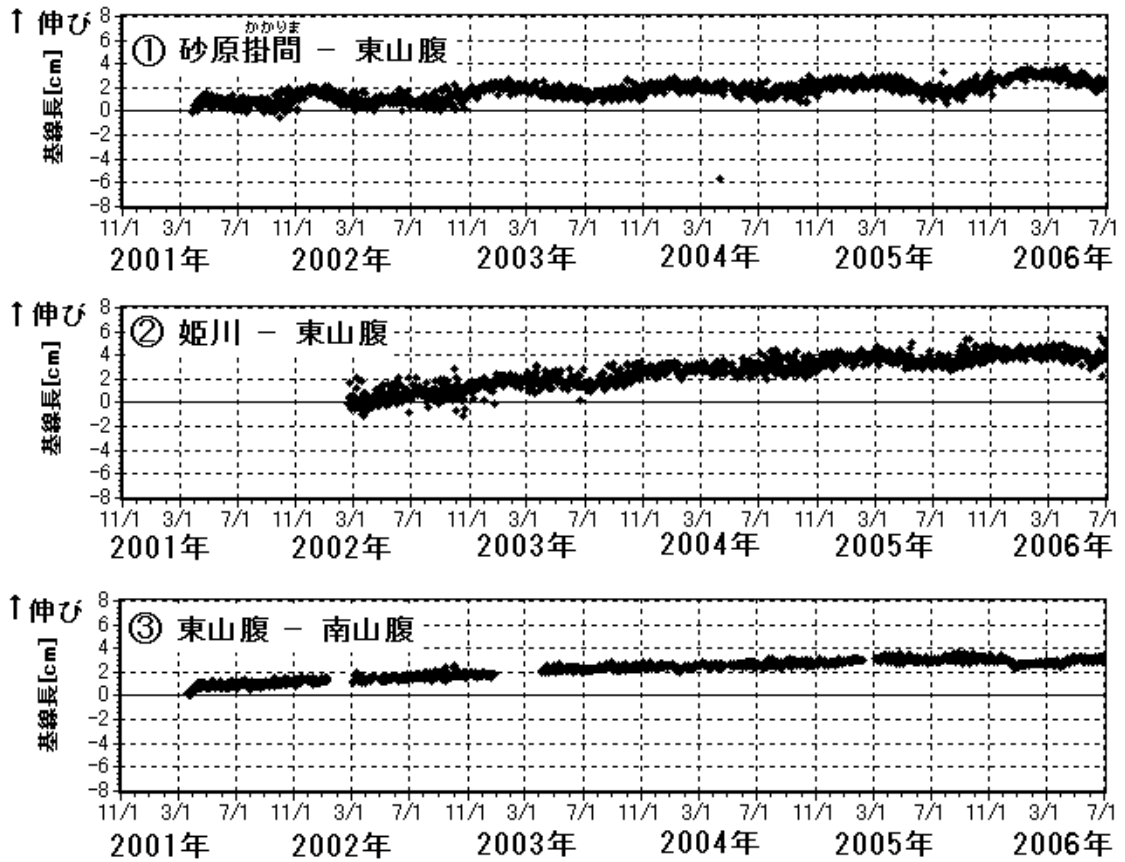
●印は前期間までの11ヶ月間(2005年6月～2006年5月)に求めた震源を示しています。

震源は山頂火口原直下の浅い所(山頂から深さ約1～3km付近)に分布しています。

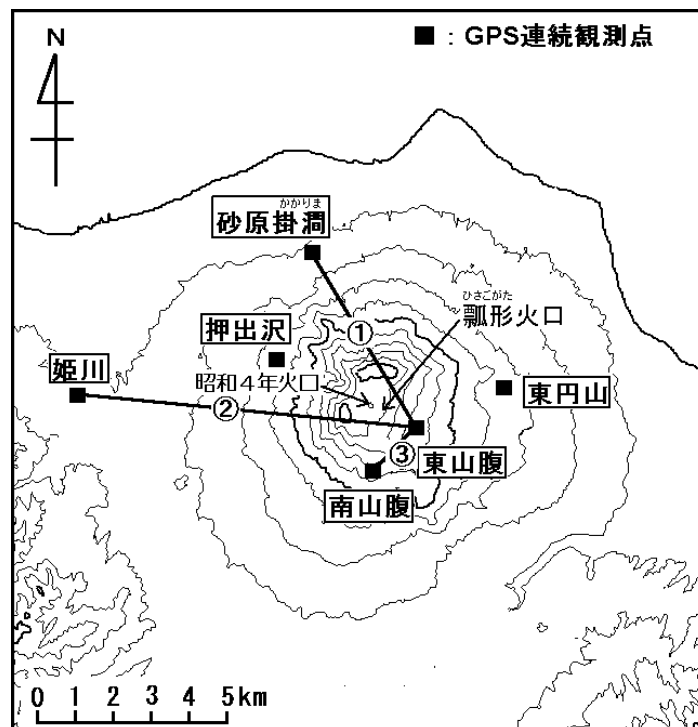
今期間に求めた震源もこの領域内に求まっています。

4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では、季節変動の影響も見られますが、わずかな山体膨張を示す基線長の伸びの傾向が引き続き認められています。



基線長変化 (2001 年 3 月 23 日～2006 年 6 月 30 日) 基線長変化グラフの空白部分は欠測



GPS 観測点配置図